



充実したプログラムや仲間との出会いに感謝

今回のアカデミーで行われた研究者による講座や発掘体験などのプログラムは、受講生にとって恐竜への興味や学びを深める貴重な機会となりました。

また、全国から集まった“恐竜仲間”との出会いにも喜びの声が聞かれました。



千葉県から参加した
仲沢 琥珀 さん
(中学1年生)

恐竜について学べる中高生向けのプログラムは聞いたことがなく、アカデミーを知ったときは「行くしかない」とすぐに参加を決めました。プログラムを通して、研究者が実際に行っているようなことを体験できてとても楽しかったです。

県立大学恐竜学部に入って、恐竜の勉強をもっとしたいと思います。

勝山市からも2人が参加！



伊藤 篤志 さん
(中学2年生)

小さいころから恐竜が大好きで、小学5年生のときには「かつやま恐竜スクール」にも参加しました。

今回、久しぶりに同じように恐竜が好きな仲間と話をすることができて、とてもうれしかったです。新しい友だちもでき、忘れられない最高の5日間になりました。



森下 耀景 さん
(中学3年生)

参加できることをとても楽しみにしていました。

プログラムやアカデミー生との交流を通して、まだまだ知らないことがたくさんあると感じ、恐竜の世界の奥深さに驚きました。

今回学んだことをこれからの勉強にも生かしていきたいです。

受講生を支えたメンターたち

今回受講生が大満足した理由の一つに、メンターの存在がありました。

メンターには、県立大学恐竜学部の一回生のうち9人が参加。受講生の活動を支えたほか、進路を検討して

いる高校生からの相談などにも答え、将来の恐竜研究者への道を後押しする存在となりました。

メンターでありながらも子どもたちからも学ぶことが多かったと話す学生たち。

それぞれどんな思いで恐竜ジュニアアカデミーに参加したのか話を伺いました。



全国の恐竜好きな学生や恐竜学部を目指す学生と交流したいと思い参加しました。

こどもたちの豊富な知識や熱意に驚かされることも多く、私たち自身も多くのことを学びました。恐竜という共通の興味を通して、人とのつながりの大切さを感じてもらえたらうれしいです。



ニックネーム 『しゅうちゃん』 『アッキー』

(左)藤原 柊人 さん (右)内田 暁心 さん

将来は学芸員として、古生物学の魅力をこどもたちに伝えたいと考えています。そのための経験になると思い、メンターとして参加しました。

こどもたちには、恐竜だけでなく、その背景にある古生物学のおもしろさにも触れてもらい、この経験が参加したこどもたちにとって将来の進路を考えるきっかけとなり、古生物学への興味につながることを願っています。



齋藤 慶太 さん

アカデミーで初お披露目『2次元恐竜骨格パズル』

今回のアカデミーの開催に向けて恐竜学部の教授たちが監修して製作された「2次元恐竜骨格パズル」。

骨の仕組みをわかってもらうため、実物大で作られた段ボール製のパズルに悪戦苦闘する受講生。メンターの協力

挑戦した骨格パズルは「フクイラプトル」・「フクイサウルス」・「フクイベナートル」

を得ながら完成したときは皆さん大喜び。大腿骨や腸骨といった専門的な骨の名前が飛び交う会場。100個前後のパーツを組み立てながら骨の構造を学んでいました。来年は10m近いフクイティタンのパズルが登場するかも!!

